

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人
田原市社会福祉協議会

目次(決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額(単位:円)		比較増減	
		令和3年度	令和2年度		
◎法人運営					
1	法人運営事業	1	60,596,597	61,373,542	△776,945
2	結婚相談事業	5	5,954,918	5,508,522	446,396
3	共同募金配分金事業	6	3,100,184	2,154,053	946,131
◎地域福祉活動					
4	ボランティアセンター運営事業	8	6,099,156	5,994,441	104,715
5	生活ささえあいネット事業	10	8,138,900	9,976,769	△1,837,869
6	地域福祉ネットワーク事業	12	8,334,650	8,218,000	116,650
7	生活支援体制整備事業	15	9,992,408	10,061,684	△69,276
◎福祉サービス利用支援					
8	成年後見センター事業	17	13,564,820	12,482,811	1,082,009
9	日常生活自立支援事業	19	792,281	866,992	△74,711
10	資金貸付事業	19	2,762,579	2,483,500	279,079
11	心配ごと相談事業	20	1,863,000	1,881,000	△18,000
12	障害児相談支援事業	21	0	0	0
13	一般相談支援事業	21	0	0	0
14	特定相談支援事業	22	13,840,669	18,255,572	△4,414,903
15	高齢者支援(地域包括支援)センター事業	24	36,117,460	35,372,000	745,460
16	生活困窮者自立相談支援事業	28	18,014,000	16,095,000	1,919,000
17	生活困窮者就労準備支援事業	29	3,292,669	3,405,276	△112,607
18	障害福祉サービス事業	29	10,042,937	10,931,036	△888,099
19	就労移行支援事業	30	22,114,719	22,591,820	△477,101
20	移動支援事業	31	4,180,903	3,041,422	1,139,481
21	生活介護事業	31	35,813,388	36,384,119	△570,731
22	日中一時支援事業	32	4,269,687	3,669,420	600,267
◎在宅福祉サービス(介護保険事業等)					
23	居宅介護支援事業	32	64,527,857	66,221,316	△1,693,459
24	訪問介護事業	33	32,080,313	30,868,136	1,212,177
25	福祉車両運行サービス事業	34	1,399,715	1,568,005	△168,290
26	配食サービス事業	34	5,607,168	6,522,685	△915,517
27	高齢者介護予防事業	35	1,577,546	1,424,095	153,451
◎施設・指定管理					
28	田原福祉センター管理運営事業	36	32,936,656	34,961,421	△2,024,765
	赤羽根福祉センター管理運営事業	36	14,067,003	13,174,461	892,542
事業報告の附属明細書について		37			
合 計			421,082,183	425,487,098	△4,404,915

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

◎法人運営

1 法人運営事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
60,596,597円	61,373,542円	△776,945円

[目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

[主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員37人、嘱託職員8人、臨時職員41人の計88人（令和4年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報紙「社協だより」は奇数月発行（年6回）
- 法人運営全般に係る財務・人事管理、経理業務
- 職員研修（キャリアパス研修等）の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

(1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

ア 理事会

- (ア) 第1回理事会 令和3年6月14日 於田原福祉センター
議事
- 第1号議案 評議員候補者の選出について
 - 第2号議案 理事及び監事候補者の選出について
 - 第3号議案 第三者委員の選任について
 - 第4号議案 令和2年度事業報告について
 - 第5号議案 令和2年度決算について
 - 第6号議案 令和3年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について
- (イ) 第2回理事会 令和3年6月29日 於田原福祉センター
議事
- 第7号議案 会長の選定について

- 第8号議案 副会長の選定について
- 第9号議案 常務理事の選定について
- 第10号議案 評議員選任・解任委員の選任について

(ウ) 第3回理事会 令和3年12月15日 於田原福祉センター
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(エ) 第4回理事会 令和4年3月16日 於田原福祉センター
 議事

- 第11号議案 理事候補者の選出について
- 第12号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
- 第13号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第14号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
- 第15号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第16号議案 臨時職員就業に関する規則の一部について
- 第17号議案 令和3年度補正予算（第1号）について
- 第18号議案 令和4年度事業計画について
- 第19号議案 令和4年度予算について
- 第20号議案 令和3年度第3回評議員会の招集について
- 第21号議案 役員等賠償責任保険の加入について

イ 評議員会

(ア) 令和3年度定時評議員会（第1回評議員会）

令和3年6月29日 於田原福祉センター

議事

- 第1～17号議案 理事及び監事の選任について
- 第18号議案 令和2年度事業報告について
- 第19号議案 令和2年度決算について

(イ) 第2回評議員会 令和3年12月24日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(ウ) 第3回評議員会 令和4年3月25日 於田原福祉センター
 議事

- 第20号議案 理事の選任について
- 第21号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
- 第22号議案 令和3年度補正予算（第1号）について
- 第23号議案 令和4年度事業計画について
- 第24号議案 令和4年度予算について

ウ 監査会

第1回監査会 令和3年6月1日 於田原福祉センター

監査事項

- a 令和2年度事業報告について
- b 令和2年度決算について

(2) 啓発及び広報活動

広報紙「社協だより」の発行(年6回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

(3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	令和3年度	令和2年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	769件 (876,870円)	746件 (862,720円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	201件 (2,166,803円)	209件 (2,118,475円)
合計	970件 (3,043,673円)	955件 (2,981,195円)

イ 会費使途

区分	内容	金額(円)	割合(%)
法人運営事業	社協だより(年6回発行)発行費	994,400	40.5
	福祉バス(29人乗、1台)運行費	1,042,800	42.5
地域福祉ネットワーク事業	サロン活動(14グループ)助成	417,500	17
合計		2,454,700	100

(4) 福祉のつどい等福祉啓発事業(共同募金配分金を活用)

「第35回福祉のつどい」は、規模を縮小し講演会のみで開催で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年連続で中止となりました。昨年度と同様、「田原市社会福祉協議会表彰状及び感謝状贈呈式」のみを開催し、多年にわたり社会福祉の増進に寄与した功績顕著な方々に表彰状及び感謝状を贈呈し、功績を称えました。

(5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料等の作成及び市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、ボランティア連絡協議会、あつみNPOネットワーク

イ 事業費支援

次の社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	令和3年度	令和2年度
田原市仏教会 (花まつり、慰霊祭等)	719,130	719,130
六連神社奉賛会（慰霊祭）	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

(6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発に努めるとともに、積極的に外部の生きがいづくり活動の場へ参加を促すことに努めました。

区分	令和3年度	令和2年度
年間訪問件数（件）	34	41
相談室延利用人数（人）	759	899

(7) 福祉バス

地域の独り暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、『福祉バス』として高齢者サロン・障害当事者・コミュニティ関係者等が、社会参加や視察研修等、多様なニーズに活用できるように利用幅を広げてきましたが、令和3年度は令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が大幅に減少しました。

区分		令和3年度		令和2年度	
利用目的		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	0	0	0	0
	野田	2	24	0	0
	高松	0	0	0	0
	伊良湖	0	0	0	0
	亀山	0	0	0	0
サロン活動		4	44	4	41
閉じこもり予防		0	0	1	13
視察研修		2	24	1	11
行事・大会・イベント他		5	63	4	33
合計		13	155	10	98

2 結婚相談事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
5,954,918円	5,508,522円	446,396円

[目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

[主な事業内容・実績]

結婚を希望する方の相談対応やお見合い、結婚相談会、オンラインセミナー、オンラインパーティーの実施により出会いの場を提供しました。

- 開設日 月曜日～日曜日 午前9時から午後5時まで
(毎週水曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日は休み)
- 職員体制 相談員2名(嘱託職員)
- 結婚等に関する相談対応
- 婚活イベントの開催
- お見合いのコーディネート及び立会い

(1) 登録者数等の実績

区分	令和3年度	令和2年度	
ふれあいカード登録者数(人)※	65	72	
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	186	197
	電話	157	189
	メール等	165	137
	計	508	523
ふれあいイベント延参加者数(人) (開催回数)	60 (5回)	25 (2回)	

婚活セミナー延参加者数(人)	9	0
婚活セミナー開催回数(回)	1	0
お見合い件数(件)	2	8
成婚組数(組)	2	5

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベント等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを活用したオンラインによる婚活パーティーを開催し、独身男女の出会いの機会を提供しました。

また、婚活支援を行う3事業所経営者を講師に招き、独身男女やその家族を対象とした結婚相談会を開催しました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によるお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧の後お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合に、お見合いの機会を提供しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いプロフィールカードの閲覧者が減少傾向にあり、見合い希望者も減少しました。

本年度は、2組のお見合いを実施し、1組が交際を始めています。

3 共同募金配分金事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
3,100,184円	2,154,053円	946,131円

[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

<ul style="list-style-type: none"> ○敬老訪問事業 ○ボランティア団体の活動支援 ○おもちゃ図書館の活動支援 ○貸出し用車椅子の整備 ○生活困窮世帯の支援 ○社会福祉活動協力校の活動支援 (※) ○サロン活動の支援 (※) ○ひきこもり講演会の開催 (※) ○ボランティア表彰者への表彰状及び感謝状贈呈式の開催 (※) <p>※印の実績については、関連事業のページに記載してあります。</p>

決算額の比較増減については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度未実施となった事業の配分金を、県共同募金会へ返還したためです。なお、返還した配分金は再度配分されます。

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。(募金実施期間 10月1日～12月31日)

区分	募金実績額(円)	
	令和3年度	令和2年度
街頭募金	12,272	0
イベント募金	3,416	9,243
学校募金	446,724	562,494
職域・戸別募金	1,171,194	1,093,158
法人募金	1,893,000	1,898,695
個人募金	164,338	211,142
その他	65,421	70,279
合計	3,756,365	3,845,011

愛知県共同募金会からの一般募金配分金と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

(1) 敬老訪問

田原市と共催で、満100歳以上の高齢者にお祝い品を9月7日に贈呈しました。

区分	令和3年度	令和2年度	記念品
満100歳以上 (人)	56	58	日めくり電波時計

(2) ボランティア団体等への活動支援

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	令和3年度	令和2年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
ボランティア団体 (1団体) 凧の学校はやぶさ	30,000	19,728
社会福祉活動協力校 (※1) 小学校18校、中学校4校、高等学校3校	1,250,000	1,287,620
サロン (6団体) (※2)	219,000	219,000
合計	1,721,000	1,748,348

※1) 社会福祉活動協力校には、1校最大で50,000円を助成

※2) サロンには、1団体最大で48,000円を助成

◎地域福祉活動

4 ボランティアセンター運営事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
6,099,156円	5,994,441円	104,715円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

幅広い分野の各種ボランティア養成講座の開催、活躍の場を広げるための情報提供、ボランティアを行う人と必要とする人とのマッチングを行い、相互の交流や連携を図りました。

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機付けや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。コロナ禍でもできる活動として、ボランティア同士のつながり作りを目的に、新規にズーム体験講座を開催しました。中止となった講座は、講師調整、参加者募集の広報など事前準備をしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催前に中止となりました。

内容	令和3年度		令和2年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
手話入門講座	6	7	8	7
レクリエーション講座	4	23	4	50
ズーム体験講座	4	14		
要約筆記入門講座	中止		1	4
点字入門講座	中止		中止	
傾聴ボランティア講座	中止		中止	
ボランティア紹介セミナー	中止		中止	
合計	14	44	18	98

(2) 広域的ボランティア事業

第29回東三河ボランティア集会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度に続き講演会のみオンライン開催となりました。オンラインでも東三河のボランティアのつながりを作ろうと、新たにズームで市町村をリレートークでつなぐ取り組みをしました。

また、今年度はボランティア団体の活動を動画で見て知ってもらうことを目的に、ボランティア連絡協議会の皆さんが、動画作成の勉強会を開催しました。コロナ禍での活動内容や近況等メッセージをまとめた動画を作成しました。

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営に必要な職員を配置し、ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア団体、個人の活動を支援しました。

ア ボランティア登録状況 令和4年3月31日現在

区分	令和3年度	令和2年度
個人（人）※	167	99
グループ（団体）	79（3,119人）	76（3,121人）

※個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含みます。

イ ボランティア活動に関する相談受付

区分	令和3年度(件)	令和2年度(件)
依頼	3	4
紹介	12	7
連絡・調整	2	11
合計	17	22

ウ ボランティア活動保険への加入状況

区分	令和3年度	令和2年度
加入者数（人）	834	854

(4) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を養成することを目的に、養成事業の支援をしました。

開催月	内容	参加人数
7月	防災ボランティアコーディネーター養成講座（2日間）	9人

※田原市総合防災訓練（センター立上げ訓練）及び防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
8,138,900円	9,976,769円	△1,837,869円

[目的]

日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いと地元商店との連携を図ります。

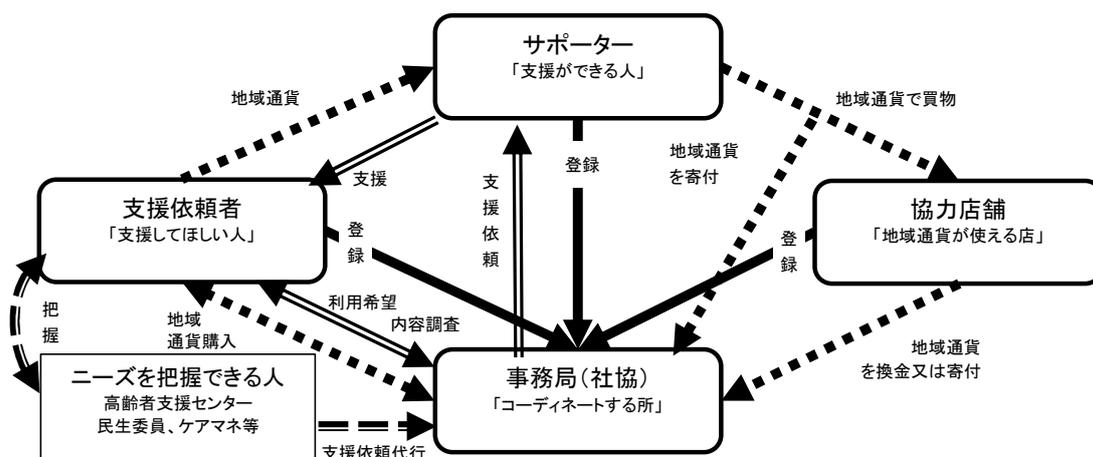
[主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活で起こるちょっとした困りごとを持つ人（支援依頼者）と、地域のボランティア（サポーター）が、「おたがいさま」の気持ちで支え合う仕組みをコーディネートします。お礼の気持ちを形にした地域通貨『菜』の発行、協力店舗に関わる手続き等を行い、互助を積極的に行う地域づくりを推進しました。困りごとの内容によっては、適切なつなぎ先を案内したり、関係機関と連携して支援を行いました。個別ケースを通して課題と感じたことは、生活支援サービスの課題として生活支援体制整備事業と連携し検討する機会を持ちました。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- サポーターを対象とした研修（説明会）の実施及び保険加入手続き
- 地域通貨の発行、換金及び管理
- 関係機関との連携（連絡、つなぎ等）
- 地域課題の発見

決算額の比較増減については、職員配置の変更に伴う人件費の減額が主な理由です。

生活ささえあいネット事業概要図



※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・100菜で30分相当の支援利用

(1) 登録状況

区分	支援依頼者(人)		サポーター(人)		協力店舗	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
年度末登録	145	142	159	158	40 事業所 46 店舗	41 事業所 46 店舗

(2) 支援実績等

区分	初回コーディネート(件)		地域通貨販売(冊)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
年度実績	10	15	90	87
累計※	192	182	802	712

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数

(3) 啓発活動等

ア 説明会

日付	対象者	会場	参加人数(人)
4月15日	衣笠住民	田原福祉センター	2
4月16日	民生委員(泉地区、伊良湖岬地区)	田原福祉センター	5
4月21日	元社協職員	田原福祉センター	1
4月23日	中部市民館サロンリーダー	中部市民館	4
4月28日	小塩津住民(60代~70代)	小塩津ほうべの集まり	7
4月30日	サロン指導員	田原福祉センター	6
5月12日	なごみカフェ参加者(堀切)	堀切市民館	7
5月18日	イノチオホールディングス総務課長	イノチオホールディングス	1
5月19日	トヨタ自動車田原工場総務課長	トヨタ自動車	1
5月20日	越戸老人会	若戸市民館	15
5月27日	新井爺ちゃん婆ちゃん喫茶	新井構造改善センター	12
5月27日	田原市健康づくりリーダー定例会	田原福祉センター	18
6月1日	泉コミュニティ会長、前会長	泉市民館	2
6月8日	一五会	田原福祉センター	16
6月10日	一色・爺ちゃん婆ちゃん喫茶	一色集会所	20
6月29日	介護予防推進員養成講座	田原福祉センター	6
7月2日	小塩津地区ケース検討会参加者	堀切市民館	5
7月3日	シニアオープンカレッジ 介護入門講座	田原福祉グローバル専門学校	20

7月9日	民生委員情報交換会後（衣笠）	田原福祉センター	2
7月12日	JA愛知みなみ・金融支店長他 認知症サポーター養成講座	JA愛知みなみ本店	14
7月28日	民生委員児童部会 認知症サポーター養成講座	田原福祉センター	26
8月5日	福江中学校ドリームの会 認知症サポーター養成講座	福江中学校	54
8月23日	学びの会 認知症サポーター養成講座	若戸市民館	10
10月13日	田原グローバル専門学校1年生	田原グローバル専門学校	3
10月18日	ボランティア愛	田原福祉センター	13
1月21日	中山市民館長・主事	中山市民館	2
2月24日	衣笠住民館長・主事	衣笠市民館	2
3月23日	六連市民館長・主事・前主事	六連市民館	3
3月28日	衣笠市民館はつらつシニア体操参 加者	衣笠市民館	10

*開催29回、合計287名

*前年度は新型コロナウイルスの影響で周知啓発活動が減少したため、今年度は小規模の説明会も心掛けました。

*新規でごみ捨ての依頼があった時には、その地区のコミュニティ会長に相談に行き、現時点での依頼者数やサポーター数をお伝えしました。個別のケースから地域課題として一緒に考えていただく機会を持ちました。

*サポーターの意見を、積極的に聞き取るよう心掛けました。

イ 広報

・社協広報紙「社協だより」掲載

(7月15日、9月15日、3月15日発行)

6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
8,334,650円	8,218,000円	116,650円

[目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 福祉関係事業者やボランティア（団体・個人）、その他の社会資源との連携並びに地域課題について情報交換
- 小地域での交流の場として社協サロンの開催および自主グループへの支援
- 新規の自主サロン活動グループの育成
- 保育園児とサロン参加者等との交流会を支援
- 学校と地域のつながりづくりを支援
- 学童とサロン参加者等との交流会を支援
- 小・中・高校における福祉教育啓発活動や実践教室での講師派遣調整
- 小地域活動を支援するための講座、映画会

(1) 地域福祉活動の推進（市民館まつり等応援）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、市民館まつりへの職員の派遣は行いませんでした。社協事業のPRチラシ等を12か所の市民館へ設置しました。（六連、大草、東部、田原中部、衣笠、高松、赤羽根、若戸、堀切、亀山、中山、福江）

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

市内のサロンや老人クラブなどに出向き、レクリエーションや福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンを対象に映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

① 福祉出前講座

区分	令和3年度	令和2年度
開催回数（回）	11	10
延参加者数（人）	105	82

② 映画会

区分	令和3年度	令和2年度
開催回数（回）	7	3
延参加者数（人）	100	48

(3) サロンの開催及び支援

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に社協サロンを設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の交流および意見交換を目的として自主サロン代表者連絡会を開催しました。

ア 開催実績

区分		令和3年度			令和2年度		
		グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)	グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)
社協主催サロン		18	322	2,099	18	302	2,138
自主サロン	1日を通して実施	6	201	3,087	6	171	2,628
	半日実施	35	1,150	11,993	34	851	8,564
合計		59	1,673	17,179	58	1,324	13,375

※社協主催サロンには、指導員（臨時職員）を派遣しています。

田原市内での新型コロナウイルス感染拡大を受け、1月28日～3月21日の間の社協主催サロンはすべて中止しました。

イ 助成制度

区分	開催回数	人数	助成金額(円)
1日を通して実施（※） (旧コミュニティサロン)	月2回程度	10人未満	54,000
		10人以上20人未満	72,000
		20人以上	96,000
半日実施 (旧シルバーサロン) ※助成初年度から3年度目まで	月1回以上	5人以上10人未満	20,000
		10人以上	30,000
半日実施 ※助成4年度目以降	月1回以上	5人以上10人未満	15,000
		10人以上	20,000

※1日を通して実施しているサロンへの助成金には、共同募金配分金が活用されています。

(4) 地域における世代間交流

通常であれば市内の保育園、小学校の園児や児童との多世代交流の場を設けていますが、今年度も新型コロナウイルスの影響が続いたことにより交流の機会が大幅に減っています。サロンによる折紙紙芝居の活動は要望のあった園のみ対応しました。

愛知大学のボランティアサークルの学生から交流会の希望があったため、よってきん会とのマッチングを行いました。また、卒業研究のための回想法の体験の受け入れ先について相談があったため、仲よし会とのマッチングを行い、毎回の同席を行いました。

開催日	サロン名	行事名	対応状況
7月15日	よってきん会	愛知大学学生交流会	学生6人、職員1人
10月8日	コミュニティサロン 仲よし会	愛知大学学生による 回想法体験①※1	学生1人、職員1人
10月15日	コミュニティサロン 仲よし会	愛知大学学生による 回想法体験②	学生1人、職員1人

10月21日	よってきん会	愛知大学学生交流会	学生4人、職員1人
10月22日	コミュニティサロン 仲よし会	愛知大学学生による 回想法体験③	学生1人、職員1人
11月5日	コミュニティサロン 仲よし会	愛知大学学生による 回想法体験④	学生1人、職員1人
11月29日	はまなす会	蔵王こども園 折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人

(5) 社会福祉活動協力校事業

市内の小・中・高等学校（小学校18校、中学校4校、高等学校3校）を社会福祉活動協力校に指定し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室等への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

区分	令和3年度		令和2年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
車いす	12	453	15	583
手話	13	504	12	585
要約筆記	3	91	2	78
点字	10	326	8	260
盲導犬	1	18	3	88
視覚ガイド	10	390	9	369
知的障害	1	65	1	63
高齢者擬似体験	3	101	3	146
認知症	6	230	5	214
講話	1	130	0	0
合計	60	2,308	58	2,386

※社会福祉活動協力校への助成金には、共同募金配分金が活用されています。

7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
9,992,408円	10,061,684円	△69,276円

[目的]

高齢単身者や夫婦のみ世帯、認知症高齢者等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく、地域住民が担い手となった社会資源・サービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として生活支援コーディネーター（第二層）を配置し、助け合い活動の創出に向けた地域情報の交換の場（協議体）の開催とネットワークの構築といった生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進します。

[主な事業内容]

○地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
・地域の生活をささえあうための活動に関するニーズの把握、課題整理
・地域資源に関する資料の更新又は集約活動
・地域の困りごとを我が事と捉え、地域住民が主体的にできることは何かを考えるきっかけづくり
○関係機関（自治会、高齢者支援センター等）とのネットワークの構築
○生活支援の担い手（ボランティアやサロン運営者）の養成やサービスの開発
○ニーズと生活支援サービスのマッチング
○必要時、個別ケア会議への出席

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

田原市内の生活支援サービスについて聞き取りを行いました。生活ささえあいネット事業や介護予防事業の課題を共有し、検討する機会を持ちました。個別のケースから地域課題を知り、地域特性の把握を行いました。

把握した地域課題、地域特性は、市役所高齢福祉課、地域福祉課に報告しました。

区分	令和3年度(回)	令和2年度(回)
地域生活のニーズ把握、課題整理	161	120
地域資源に関する資料更新、集約活動	196	186
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	187	85

(2) 関係機関とのネットワークの構築

社協内での連携体制づくりを意識し、課題を整理するために3課に配属されている生活支援コーディネーターと共に、高齢者支援センター、地域福祉ネットワーク事業担当、閉じこもり予防担当等で意見交換を実施しました。

地域住民やコミュニティからの意見を聞き取るため、地域に出向く機会を多く持ちました。また、認知症地域支援推進員や生活ささえあいネット担当と共に出前講座を開催し、人と人のつながりを持つことの大切さについて、地域住民に伝える機会を持つことができました。

区分	令和3年度(回)	令和2年度(回)
関係機関等との連携強化	494	394
第二層協議体の設置、機能促進	31	23

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

コミュニティ、健康づくりリーダーから、住民の集まりの場を求める声を受けて、市民館カフェなどが先行している地域の様子を伝え、立ち上げ方について一緒に検討しました。

認知症サポーター養成講座、地域包括ケアシステムの講座などで、生活支援体制整備事業と生活ささえあいネット事業の周知啓発を協働で行い、地域の担い手の養成につながる活動を行いました。

サロン、体操教室、閉じこもり予防教室等を訪問し、参加者から話を聞く機会を持ちました。

サロンの担い手不足課題に対し、活動できる方を紹介する機会を持ちました。

区分	令和3年度(回)	令和2年度(回)
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進 (サロンやボランティア団体等との交流、相互理解促進)	64	48
地域とのつながりをつくり、サービスの開発を促進	41	20

(4) 個別ケア会議への出席

区分	令和3年度(回)	令和2年度(回)
個別ケア会議への出席	8	4

(5) 活動区分数

	令和3年度(回)	令和2年度(回)
訪問	319	309
電話	139	75
来所	54	20
その他※	91	61
計	603	465

※その他は、社会福祉協議会内他事業との情報共有、活動調整の数です。

◎福祉サービス利用支援

8 成年後見センター事業（市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
13,564,820円	12,482,811円	1,082,009円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

[主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見（身上監護（契約手続等）と財産の管理）の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 判断能力が不十分な方への権利擁護に関する相談対応
- 成年後見制度の申立支援（市長申立が必要な対象者への支援含む）
- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 親族後見人等の相談対応
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 日常生活自立支援事業利用に関する相談対応、支援
- 市民後見人等養成の検討

決算額の比較増減については、職員配置の変更に伴う人件費の増額が主な理由です。

(1) 成年後見センター運営委員会

- ・開催回数 全2回(9月22日、3月9日)

(2) 広報及び周知啓発活動

- ・社協広報紙「たはら社協だより」掲載(7月発行107号、1月発行110号)
- ・成年後見センター啓発講座『地域で見守る～高齢者、障害者等の消費者トラブルを防ごう～』(3月3日※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出の為、開催中止)
- ・自主サロンよってきん会への出前講座(4月22日)
- ・民生児童委員協議会定例会での周知啓発(12月10日、12月14日、12月17日)

(3) 他機関との連携

- ・田原市障害者自立支援協議会
権利擁護部会(全1回/12月20日)
施策推進会議(全1回/11月5日)
- ・東三河5市社協成年後見事業情報交換会(全2回/蒲郡市、豊川市)

(4) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援

区分	令和3年度(人)	令和2年度(人)
相談実人数	65	53
内成年後見申立支援	4	5

(5) 法人後見の受任

区分	令和3年度(人)	令和2年度(人)
後見	10	8
保佐	5	5
補助	2	2
合計	17	15

9 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
792,281円	866,992円	△74,711円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

判断能力の不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等）への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、貴重品の預かり等の支援を行いました。

- 福祉サービスの利用援助（相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理）
- 日常的な金銭管理サービス（利用料：1回 1,200円）
- 書類等の預かりサービス（利用料：年間 3,000円）

(1) 利用者内訳

区分	令和3年度（人）	令和2年度（人）
昨年からの継続利用者数	12	12
新規契約件数	1	2
合計	13	14
終了件数	3	2
年度末時点利用者数	10	12
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	1	0

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	4	3	3	10

10 資金貸付事業（県社協受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
2,762,579円	2,483,500円	279,079円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業等を理由に生活資金が必要となった世帯を対象に特例貸付の申請を受付けました。

(1) 生活福祉資金貸付事業

区分	令和3年度(件)	令和2年度(件)
相談件数	194	188
貸付件数	191	178

(2) くらし資金貸付事業

区分	令和3年度(件)	令和2年度(件)
相談件数	0	0
貸付件数	0	0

1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
1,863,000円	1,881,000円	△18,000円

[目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごとの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月 2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月 3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日）	午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月 1回（偶数月第2水曜日）	午後1時～午後4時
○あつみライフランド	毎月 1回（原則第1火曜日）	午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分		

(1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
相談件数(件)	163	161	0	0	50	38	213	199

(2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	2	年金	1	職業・雇用	10
借金	7	貸金	4	多重債務	4
消費者被害	4	財産	1	土地・建物	38
借地・借家	6	境界・登記	7	相続	39
成年後見	2	家族・家庭	12	離婚・養育費	36
損害賠償	12	事故	4	DV・虐待	1
人権法律	3	その他	20		
合計 (件)				213	

1 2 障害児相談支援事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行います。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助

利用状況

区分	令和3年度	令和2年度
利用計画書作成件数 (件)	0	0

※障害児の相談については、田原市こども相談支援事業所が専門的に受けることが多いため、本年度は作成依頼なし。

1 3 一般相談支援事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

<p>○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援（精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援） ・地域定着支援（病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援）

利用状況

区分	令和3年度	令和2年度
利用計画書作成件数（件）	0	0

※令和3年度は田原市内の実績は0件です。

1.4 特定相談支援事業（市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
13,840,669円	18,255,572円	△4,414,903円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行いました。

[主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じる他、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

<p>○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・社会資源を活用するための支援 ・社会生活力を高めるための支援 ・権利の擁護のために必要な援助 ・専門機関の紹介 ・就労に関する支援 ・生活保護被保護者への就労支援 ・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務 ・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務 ・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

決算額の比較増減については、職員配置の変更に伴う人件費の減額が主な理由です。

(1) 相談実績

相談方法	※相談実人数累計（人）		相談延回数(回)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
電話相談	70	66	418	336
来所相談	48	37	141	89
訪問・同行	50	55	132	145
その他(連絡調整等)	266	217	2,249	2,100
合計	434	375	2,940	2,670

(2) 支援実績

支援内容	※支援実人数累計（人）		支援延回数(回)	
	3年度	2年度	3年度	2年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	151	139	1,841	1,861
障害や症状の理解に関する支援	0	1	0	2
健康・医療に関する支援	2	0	3	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	7	11	22	28
保育・教育に関する支援	0	0	0	0
家族関係・人間関係に関する支援	0	0	0	0
家計・経済に関する支援	3	3	5	22
生活技術に関する支援	4	2	4	2
就労に関する支援	89	72	1,013	586
社会参加・余暇活動に関する支援	1	1	1	1
権利擁護に関する支援	2	2	2	4
その他情報交換・生活状況確認等	25	31	49	164
合計	284	262	2,940	2,670

※(1)相談実績と(2)支援実績の支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。

(3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
134	126	422	431

(4) 就労支援実績及び支援内容（相談件数は(1)(2)に含む）

ア 支援対象者数

(ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他（※）		計（人）	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
5	5	37	24	43	29	13	7	98	65

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

(イ) 就労状況別

在職		求職		計（人）	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
65	43	33	22	98	65

イ 就職等の状況

就労支援（人）		定着支援（人）		※定着支援のうち			
				福祉的就労（人）		定着支援事業利用者（人）	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
29	24	58	41	8	13	8	7

1.5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
36,117,460円	35,372,000円	745,460円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

- 総合相談支援業務
 - ・総合的な相談支援
 - ・独居及び高齢者のみ世帯への訪問による生活状況の確認と課題の早期発見(実態把握業務)
- 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
 - ・地域の保健・福祉・医療サービス・ボランティア等の連携支援
 - ・生活支援コーディネーター、地域コミュニティと連携して社会資源を把握
- 権利擁護業務
 - ・高齢者虐待の防止、消費者被害の防止活動
 - ・成年後見制度、日常生活自立支援制度活用の促進
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - ・地域の介護支援専門員と関係機関の連携支援
 - ・困難事例の相談受付及び同行訪問等の支援
 - ・事例検討会・研修会の実施

- 介護予防に係るケアマネジメント業務
 - ・事業対象者、要支援認定者の自立した日常生活の支援
 - ・介護予防に取り組む必要がある高齢者の把握及び介護予防に関する教室への参加促進
- 認知症に関する取り組み
 - ・認知症に関する正しい知識の周知・啓発活動
 - ・認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制の構築
- 地域ケア会議の推進
 - ・多職種協働による個別ケースの検討及び問題解決
 - ・個別ケースの課題分析等を通じた地域課題の発見と地域づくり検討

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 伊良湖岬小学校区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

主センター、サブセンターは携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行いました。

(1) 総合相談支援業務等

新規総合相談件数は、前年度に比べ減少しました。個別総合相談にかかる時間は昨年よりも微増の状況でした。介護保険の有効期間の長期化により、有効期間中に変更申請をする方が増えている状況が影響していると思います。初期の相談内容としては、総合事業利用、介護保険サービス利用のための介護保険申請に関する内容が多い状況は例年と変わりのない傾向でした。また、他制度との協働が必要な事例は各制度担当者と連携を取りました。

実態把握業務は、前年度比微減の件数でした。新規訪問する家庭では聞き取り、面談の拒否が数件ありました。

ネットワーク構築活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で、各教室、地域の集い等が中止となったり、人数制限をしておの活動であることが多く、予定通りの活動が行えない状況でした。介護保険関係事業者等連絡会の事務局として研修会等の開催・事業者ガイドブックの作成を実施しました。

ア 赤羽根福祉センター・あつみライフランド

新規相談実人数 令和3年度：237人 令和2年度：260人

圏域	電話 (件)		来所 (件)		訪問 (件)		計 (件)	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
野 田	96	97	13	17	124	257	233	371
赤 羽 根	241	225	65	109	301	520	607	854

泉	157	195	213	207	195	347	565	749
伊良湖岬	279	141	61	56	230	209	570	406
担当圏域外	17	15	25	21	0	6	42	42
合計	790	673	377	410	850	1,339	2,017	2,422

※訪問件数は令和3年度から行政の集計方法の変更により、令和2年度に含まれていた実態把握業務での訪問数が除かれています。令和3年度の実態把握訪問は415名です。

イ 田原福祉センター 相談窓口（ブランチ）

校区等	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)		担当高齢者 支援センタ ー
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	
野田	4	0	1	1	0	0	5	1	社協
赤羽根	2	1	2	2	0	0	4	3	
泉	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊良湖岬	0	0	0	0	0	0	0	0	
福江	3	2	1	2	0	0	4	4	福寿園
東部	5	4	2	5	0	0	7	9	
童浦小	2	2	3	2	0	0	5	4	
田原(童浦小除)	1	0	4	2	0	0	5	2	あつみの郷
不明・市外等	3	6	5	1	0	0	8	7	—
合計	20	15	18	15	0	0	38	30	—

ウ ネットワーク構築

圏域	令和3年度(件)	令和2年度(件)
野 田	4	7
赤 羽 根	13	27
泉	16	12
伊 良 湖 岬	29	38
市内全般	69	72
合計	131	156

(2) 権利擁護業務

判断能力が不十分と思われる方に対しての日常生活自立支援事業、成年後見制度の説明、利用提案を行いました。各事例共に田原市成年後見センターに相談をし、助言をいただきながら対応しました。

虐待への対応は、虐待疑いの情報を得た段階で田原市高齢者虐待マニュアルに沿って対応を行いました。

複数の課題があり、課題解決に多くの時間、期間を要する方の支援が増加傾向にあります。

援助項目	延件数(件)	
	令和3年度	令和2年度
成年後見の利用(利用相談含む)	45(実人数2名)	61(実人数6名)
虐待への対応	57(実人数6名)	48(実人数4名)
消費者被害への対応	12(実人数3名)	0(実人数0名)
困難事例への対応	487(実人数10名)	97(実人数3名)
合計	601(実人数21名)	206(実人数12名)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域、多職種との連携を意識して、地域ケア個別会議、担当者会議を行うようにしました。

認知症の周辺症状に関する相談が増加しています。また、8050課題の事例もありました。経済的困窮を起因とする生活課題の支援では、対象者が危機感を抱いていないケースがあり、長期間の支援となりやすい状況です。

金銭の管理、生活上の危険性の判断が難しくなってきた事例に対して介護支援専門員から一緒に考えてほしいと相談される事例が増加しています。

個別支援

区分	令和3年度	令和2年度
実人数(人)	13	10
延べ支援数(回)	338	94

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

自立支援を目標としたプラン作成を心がけました。また、地域のサロン、教室、集いへの参加の声掛け、インフォーマルサービスの活用の提案を行いました。作成件数は前年度に比べ増加しています。

ア 指定介護予防支援等(要支援の方等のプラン作成)

区分	令和3年度	令和2年度
年度末登録者数(人)	175	171
予防プラン作成件数(件)	2,075(委託件数0件)	1,996(委託件数0件)

イ 指定介護予防支援等相談内訳

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		連絡調整(件)		計(件)	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
野田	154	140	2	2	417	369	205	300	778	811
赤羽根	192	240	11	27	434	500	415	717	1,052	1,484
泉	258	207	2	0	395	382	232	276	887	865
伊良湖岬	484	237	31	23	664	614	583	128	1,762	1,002
その他	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
合計	1,088	824	46	52	1,910	1,865	1,435	1,427	4,479	4,168

(5) 認知症に関する取り組み

新型コロナウイルスの影響で、認知症サポーター養成講座は小規模開催が増えています。

若年性認知症の方の支援に、多くの時間を使いました。若年性認知症の事例は少なく、多職種で相談をしながらの支援を行いました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催数（回）		参加人数（人）	
3年度	2年度	3年度	2年度
9	4	168	85

イ 認知症対応講座

開催数（回）		参加人数（人）	
3年度	2年度	3年度	2年度
1	1	12	46

(6) 地域ケア会議の推進

必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。

個別支援開催数(回)		圏域課題支援(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度
11	6	0	1

1 6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
18,014,000円	16,095,000円	1,919,000円

[目的]

さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へ包括的な相談支援を行うことにより、生活保護へ至る前の自立を促します。

[主な事業内容・実績]

田原福祉センターに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

コロナ禍の生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析し、住居確保給付金利用や食料の支給、就労に関する支援や医療機関へのつなぎ、貸付制度等他の福祉制度の紹介・利用支援、その他必要に応じて課題を踏まえた個別の支援を行いました。

また、生理の貧困（困窮や知識不足等により生理用品を入手できない状態）対策として、希望する生活困窮者に生理用品を配布しました。

○職員体制（田原福祉センターに配置）

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（兼任）
- (2) 相談支援員 1人（兼任）
- (3) 就労支援員 1人（兼任）

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方

決算額の比較増減については、困窮世帯の増加や長期化する相談支援に対応するため、職員体制を強化したことに伴う人件費の増額が主な理由です。

(1) 相談実績

区分	令和3年度(件)	令和2年度(件)
新規	82	77
住居確保給付金受付	1	8
食料支援	264	175
生理用品支給	28	0

(2) 啓発事業の実施（共同募金配分金を活用）

- ・ひきこもり講演会の開催（令和4年3月19日 田原福祉センター）
「ひきこもりって何だろう」～ひきこもりの人の心を知る～
講師：愛知教育大学 准教授 川北 稔 氏
参加者数 26名

1.7 生活困窮者就労準備支援事業（市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
3,292,669円	3,405,276円	△112,607円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者等に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常生活や社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活や社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会参加・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制	就労準備支援員 1人（田原福祉センター）
○利用対象者	生活リズムが崩れている等の理由により、就労にむけた準備が整っていない生活困窮者等

相談実績

区分	令和3年度	令和2年度
計画作成(件)	4	4
相談件数(件)	6	11

1.8 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
10,042,937円	10,931,036円	△888,099円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

必要な居宅介護及び同行援護を適切に行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション 営業日 月曜日から日曜日 (第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)

決算額の比較増減については、利用者の入院等に伴い利用実績が減少したことが主な理由です。

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
24	26	2,387	2,616	2,337	2,695

19 就労移行支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
22,114,719円	22,591,820円	△477,101円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

[主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○多機能型事業所田原市社協・就労定着支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成 ・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練 ・生産活動の機会の提供 ・実習先企業等の紹介 ・就労への移行に向けた求職等の支援 ・就労後の職場定着のための支援

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
7	9	1,524	1,834	7	6

利用者数については、年度末における数値

20 移動支援事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
4,180,903円	3,041,422円	1,139,481円

[目的]

田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

[主な事業内容・実績]

利用者が映画、各種イベント等に参加する際の外出行支援を行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション 営業日 月曜日から日曜日 (第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)

決算額の比較増減については、前年度に比べ新型コロナウイルス感染症への予防対策が充実されてきたことに伴い、利用意向が増加したことが主な理由です。

事業実績

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
20	15	1,705	1,249	399	323

21 生活介護事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
35,813,388円	36,384,119円	△570,731円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適正なサービスを提供することを目的とします。

[主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切にし、創作、作業、余暇活動等を行い、生きがいや居場所づくりを行いました。

○田原市社協生活介護事業所なのはな(18歳以上の障害者を対象) 営業日 月曜日から金曜日 (8月13日～15日、12月29日～翌年1月3日及び「山の日」の振替休日「敬老の日」「成人の日」を除く)

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
26	29	2,739	2,836

2 2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
4,269,687円	3,669,420円	600,267円

[目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

[主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行いました。

○田原市社協日中一時支援事業所 営業日 月曜日から金曜日の祝日及び土曜日 （「学校長期休業日」後と「こどもの日」後の最初の土曜日を除く） 学校長期休業日は月曜日、火曜日及び木曜日から土曜日 （8月13日から8月15日及び12月29日～翌年1月3日を除く）

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
16	16	594	609

◎在宅福祉サービス

2 3 居宅介護支援事業(介護保険事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
64,527,857円	66,221,316円	△1,693,459円

[目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

○田原市社協あかばねケアプランセンター ○田原市社協あつみケアプランセンター 営業日 月曜日から金曜日まで （祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）

- ・各種介護相談対応、申請援助
- ・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成
- ・施設入所等の相談対応
- ・入退院時の医療機関との連携
- ・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

決算額の比較増減については、利用実績の減少が主な理由です。

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
赤羽根	170	182	1,792	1,871
あつみ	192	192	2,055	2,163
計	362	374	3,847	4,034

2.4 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
32,080,313円	30,868,136円	1,212,177円

[目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

○田原市社協ヘルパーステーション
 営業日 月曜日から日曜日
 （第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く）

決算額の比較増減については、職員配置の変更に伴う人件費の増額、ガソリン単価高騰による車両費支出の増が主な理由です。

(1) 訪問介護(要介護1～5)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
18	15	1,793	1,825	2,390	2,212

(2) 介護予防訪問介護（要支援1～2）

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
18	20	1,361	1,617	1,374	1,626

(3) 学校生活介助員事業(市受託事業)

障害等を有し学校生活への適応が困難な児童・生徒に対し、必要に応じて田原市内の小・中学校に学校生活介助員を派遣します。

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
0	0	0	0	0	0

※令和3年度は利用申請がないため実績なし

2.5 福祉車両運行サービス事業

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
1,399,715円	1,568,005円	△168,290円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

○月曜日から金曜日まで(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) 午前8時30分～午後5時15分
○利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる
○発着のどちらかが、田原市内であることが条件

利用実績

事業所	年間延利用件数(件)					
	高齢者		障害者		計	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
田原	474	385	143	204	617	589
赤羽根	0	1	0	0	0	1
渥美	201	178	39	62	240	240
合計	675	564	182	266	857	830

2.6 配食サービス事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
5,607,168円	6,522,685円	△915,517円

[目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

- 月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
- 利用者本人の負担は食事代実費（500円～530円）

決算額の比較増減については、他事業者参入に伴う利用者数の減少により、人件費や給食費支出が減少したことが主な理由です。

利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
田原	28	37	4,104	4,556
赤羽根	7	9	738	818
渥美	28	29	2,451	2,459
合計	63	75	7,293	7,833

2.7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
1,577,546円	1,424,095円	153,451円

[目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施して、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

[主な事業内容・実績]

- 閉じこもり予防教室 市民館等の12会場で毎月1回開催

閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
野田市民館	12	10	12	11	89	82
高松市民館	11	10	11	13	64	95
赤羽根市民館	11	10	6	6	50	46
赤西公民館	12	10	5	7	34	48
若戸市民館	11	10	12	10	110	91
池尻集会場	12	10	8	3	29	21

泉市民館	12	10	3	3	32	28
和地市民館	12	10	13	14	78	91
堀切市民館	11	10	11	10	66	83
福江市民館	10	10	16	19	87	132
あつみライフランド	12	10	8	5	68	42
清田市民館	11	10	4	8	37	43
合計	137	120	109	109	744	802

◎施設・指定管理

28 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	令和3年度支出決算額	令和2年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	32,936,656円	34,961,421円	△2,024,765円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	14,067,003円	13,174,461円	892,542円

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。また、サロン・ボランティアグループの活動の場としての定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

田原福祉センターの決算額の比較増減については、前年度に比べ設備機器等の修繕が少ないのが主な理由です。赤羽根福祉センターについては、電気料金の高騰に伴う水道光熱費の増額が主な理由です。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

区分	田原福祉センター(人)		赤羽根福祉センター(人)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
一般利用	12,475	15,431	-	-
会議室利用	24,565	21,815	3,442	2,882
健診等	2,929	3,279	0	0
その他※1	9,779	9,489	3,333	3,445
合計	49,748	50,014	6,775	6,327

※1 各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

- ア 田原福祉センター
 - 「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」1,524人
 - 「豊川保健所田原保健分室利用者数」4,303人
 - 「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」3,952人
- イ 赤羽根福祉センター
 - 「生活介護事業利用者数」2,739人
 - 「日中一時支援事業所利用者数」594人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とし、市民活動の拠点として活用されています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

- (ア) 各種団体の事務局を担当 {P 4 (5)各種団体支援助成 参照}
- (イ) 田原市成年後見センター
- (ウ) ボランティアセンター
- (エ) ふれあい相談センター（結婚相談）
- (オ) 多機能型事業所田原市社協（就労移行）

イ 豊川保健所田原保健分室

ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター

エ 田原市障害者総合相談センター

オ 母子寡婦福祉会（喫茶及び売店）

カ 田原市地域職業相談室（ハローワーク）

(3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

- (ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター
- (イ) 田原市社協ヘルパーステーション
- (ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター
- (エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな
- (オ) 田原市社協日中一時支援事業所

イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

◎事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。